



『ドラえもん』について考える

みなさんは、あの国民的アニメ『ドラえもん』を知っていますか？Wikipediaによると「ドラえもんがポケットから出す多種多様なひみつ道具（現代の技術では実現不可能な機能を持つ）で、のび太（以外の場合もある）の身にふりかかった災難を一時的に解決するが、道具を不適切に使い続けた結果、しっぺ返しを受ける」という、あの不朽の名作。私は幼少のころ「欲しいもの1つだけ手に入るとしたら何かいい？」という問いかけに無邪気に「四次元ポケット！」と言っていた記憶があります。

さて、そんな国民的人気アニメ『ドラえもん』では主に、個性あふれる4人の小学4年生（連載の途中から5年生になるらしい）が登場します。

主な登場人物のキャラクターを心理学的に再考してみよう

『ドラえもん』の登場人物といえば…誰を思い浮かべますか？
まず、ドラえもんは、ちょっと置いておいて。ここでは『のび太くん』『しずかちゃん』『ジャイアン』『スネ夫』について、それぞれのキャラクターを確認してみましょう。
改めて調べてみると「へえそうなんだ！」と思うことがたくさん書かれていました。

では、ドラえもんの登場人物のキャラクターで何が言いたいかということ…

誰にでも『っぽい』ところがあるということ

人の性格を、一言で言い表すことはとても難しいものです。
誰にでも『のび太くんっぽいところ』『ジャイアンっぽいところ』はあるのです。
いつもは「ドジでなまけもの。いじめられっ子」ののび太くんですが、映画になると、強い意志を持った言葉で、仲間を勇気づけたり、友達を思いやったりする場面が見られます。人の言動は、置かれている状況や相手との関係性などによって変わるものなのです。

TPOを考えた行動を！などとよく言われますが、TPOとは、時（Time）、場所（Place）、場合（Occasion）の頭文字をとった言葉です。

あなたは、時と場所と場合を考えた行動をとることができますか？

相手と友好的なコミュニケーションをとるためのコツとは・・・



のび太（野比 のび太）

スポーツは苦手で、勉強は好きじゃない。性格はドジでなまけもの。いじめられっ子だが、人の心の痛みがわかり、自然を大切にする、やさしいハートの持ち主。

しずかちゃん（源 静香）

のび太の同級生のかわいい女の子。しっかり者で、勉強もできる。とてもきれい好きで、お風呂が大好き。みんなの人気者だが、将来、結婚相手としてのび太を選ぶ。

ジャイアン（剛田 武）

のび太の同級生。みんなからはジャイアンとよばれている。乱暴なガキ大将だが、友情に厚い男の子。学校ではいつもいびりちらしているものの、親には頭が上がらず、妹のジャイ子にはとてもやさしい。歌手になるのが夢だが、ひどい悪声で、近所中が迷惑している。

スネ夫（骨川 スネ夫）

のび太の同級生。家が裕福なのを鼻にかけている。口がうまくて世渡り上手だが、実は背が低いのを気にしている。手先が器用なのを生かし、絵画や模型など、いろいろな趣味を持っている。



ドラえもん仲間たち（テレビ朝日）より

アサーション・トレーニングで よりよい人間関係を

アサーション (assertion) とは、英語で「自己主張」という意味です。相手の考えを尊重しながら、自分の意見もちゃんと伝えるコミュニケーションスキルのことを言います。

では、次のような場面を想像してみてください。

定期考査 2 日目。今日はバイトもお休みです。

- A** 「ねえねえ、今日、何か予定ある？」
B 「別にないよ」
A 「じゃあ、これからご飯食べ行って久しぶりにカラオケ行こうよ！」
B 「…」
A 「…」

さあ、あなたなら何て答えますか？

- ① **B** 「(え～Aさんに言われたら断れないじゃん…また赤点とったらどうしよう…でも…) あっ、うん、そうだね、行こう行こう。」
② **B** 「はぁ？何言ってるの。明日もテストだし行くわけないじゃん！」
③ **B** 「いいね、カラオケ！最近行ってないし。でも、明日もテストあるしさ、テスト終わったら行こう！それより一緒に明日の数学の勉強しない？」

あなたはどのタイプ？

コミュニケーションに課題が生じた場合、それぞれの自己表現は次のように3つのタイプに分かれるとされています。

①非主張型タイプ (のび太くんタイプ)

自分よりも相手を優先して考えるタイプ。
遠慮してしまい、自分の意見を率直に言えない。ただ自分の意見を言えないだけでなく、あいまいな言い方や言い訳がましくなってしまうこともある。



②攻撃型タイプ (ジャイアンタイプ)

相手よりも自分を優先して考えるタイプ。
相手の気持ちが考えられず、自分の主張を押しつけてしまう。必ずしも「口調がきつい」「大声で怒鳴る」だけでなく、自分勝手な行動で、相手よりも優位に立とうとすることもある。



③アサーティブなタイプ (しずかちゃんタイプ)

まずは自分のことを考えるが相手への配慮も忘れないタイプ。
自分の気持ちを正直に率直に、その場にふさわしい表現で伝えることができる。そしてお互いの意見がぶつかったときは話し合い、お互いに納得できる結論を出そうとすることができる。



繰り返しになりますが、人は誰でも『のび太くんっぽいところ』や『ジャイアンっぽいところ』があるのです。だから時として、誰かに対して意地悪なことを言ってしまうたり、厳しい口調で相手を傷つけてしまうこともあるし、逆に、誰かのために勇敢に立ち向かったり、やさしい気持ちでいたわってあげたりできるのです。

そのとき自分が何を話して、どう振舞うか。それを決めるのは自分の意思です。HAPPINESS No.5 で「自己認知」という話をしました。意思決定をするにあたって大切なのが、その時の「**自分の心の状態を考えてみる**」「**自分を客観的に見つめてみる**」という作業です。「今、とってもイライラしている」「失敗して落ち込んでいる」「嬉しいことがあってウキウキしている」etc…といった自分の感情に、とりあえず目を向けてみる、今の心の状態に気づく。そうすることで、相手の言葉に対してどう答えればよいか、相手との関係をどうしていきたいのか、ということがわかってくるのです。

私も保健室では、常に『しずかちゃんタイプ』でいたいと思う今日この頃です。お互い、気持ちのいいコミュニケーションがとれるよう心がけていきましょうね！